

学術研究推進助成実績報告書 (中間・完了)

平成 25 年 7 月 1 日

公財岡山工学振興会

代表理事 小西 忠孝 殿

(所属機関名) 岡山大学大学院自然科学研究科

(申請者名) 鈴木 康一



※研究期間に応じ、報告書の中間・完了のいずれか該当のものを○で囲ってください。

研究題目	次世代アクチュエータの研究	
研究期間	平成 24 年 11 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日	
共同研究者	氏 名	所属機関 (職名)
	神田岳文 脇元修一	岡山大学大学院自然科学研究科 (准教授) 岡山大学大学院自然科学研究科 (准教授)
研究題目について の研究発表	発表した学協会名と期日	発表した会誌等
	日本ロボット学会学術講演会 (2013 年 9 月 4 日発表予定)	なし (Advanced Robotics 投稿予定)
研究概要	<p>アクチュエータとは、モータ、油空圧シリンダ、圧電振動子、等々、動きを作り出すもととなるデバイスの総称で、産業、医療・福祉、先端科学の分野のもっとも基盤となる技術の一つとなっている。</p> <p>本研究では、異分野融合、海外の研究者との国際交流、産業界との連携、に力を注ぎ、これらを通して実践的なアクチュエータの研究開発を進めている。特に、この 1 年間は、岡山大学医学部ならびに岡山の地元の企業と連携して、胃 X 線検査用腹部遠隔圧迫アクチュエータを試作開発し、良い研究成果を上げている。まだ、研究を開始して間がないため学会等での発表実績はないが、専門学術学会 (2013 年 9 月予定) や学会誌に近日中に投稿する予定である。また、関連研究は既に新聞記事でも取り上げられている。</p> <p>今後は実用的価値を持ちうる様々なアクチュエータの情報収集、研究開発を積極的に進めてゆく計画である。</p>	